

観光を考えるワークショップ 新鶴地域 開催記録

日時：令和7年7月28日（月）19時00分～20時35分

場所：新鶴生涯学習センター 会議室B

出席者：3名

事務局：4名

1. 開会

2. あいさつ（課長補佐代理）

現在、町の方で会津美里町の観光振興計画というものの策定で、商工観光係の方が動いているわけですが、これが10年計画でございまして、ちょうど今年度、令和7年度で10年目を迎えるということですので、来年度から始める第2次の会津美里町観光振興計画というものを作成することになります。そのために、皆さんにワークショップという形でご意見をいただいて、皆さんのお声を生かした計画にするということで、今日のワークショップを進めさせていただきたいと思っております。また並行して、会津美里町には総合計画というものがございまして、第2次総合計画も、併せて来年度からスタートするということで、町民懇談会を総務課、ないし政策財政課の方で実施しています。その意見を、また別の観光振興計画を策定するわけでございますので、皆さまの忌憚のない意見を頂戴したいと思います。進行を進めていく中で、いろいろとスケジュールやグループワーク等ございますが、どうぞよろしくお願ひいたします。

3. ワークショップ

①本日のワークショップの趣旨と本日のスケジュール目標について

事務局より、資料の説明、スケジュールの確認を行った。

7月に行ったアンケート調査の結果も共有した。

②グループワーク

始めに事務局のあいづまちづくりパートナーズ・阿部氏より会津美里町の観光の現状について説明した。

その後、以下の設問に10分間で答えてもらった。

〈設問〉

- ・開催地域（新鶴）の一番の推し観光資源（場所・イベント・食べ物・文化）は何ですか。
- ・あなたが考えるその理由、根拠は何でしょうか。
- ・そして、その観光資源が「バズる」（=もっと有名になり、誘客すること）ためには

どうすればいいでしょうか。

③発表

(参加者A)

自分が働いているということもあるが、温泉と食事が楽しめるということで、新鶴温泉などをおすすめしたい。それとイベントに関しては、開催日が決まっていないとお客様に案内することができないので、その辺をわかりやすくしていただけだと観光振興に役立つのではないか。

(阿部氏)

新鶴温泉は本当に特出しのように一番初めにくる観光資源だと思う。それ一つだけでは大変なので、高田、本郷、新鶴、観光協会が一体となって連携をとっていかないといけないかなと思う。

(参加者B)

私は観光協会で広報を担当して、私が重要視するのは観光地ももちろんだが、そこで働いている人で、やはり人が良くないと人は二度と来ないと感じている。私個人で画家活動をしていて、個展を何回かやらせていただいたときに、去年新鶴ワイナリーさんとご縁があって、2ヶ月間個展をさせていただいたことがあり、そのときに私個人のインスタグラムで新鶴ワイナリーさんの建物をあげたときに、県外の方から「この場所どこ?」って聞かれたことが多かった。「新鶴ワイナリーっていうところですよ。」って答えると、「ここ行ってみたいです。」「公園もあっていい場所ですね。」って言われた。なので、傍から見るとすごくいい場所であると思う。ただ、実際に自分が財廊していたときに、色々な方が来られていたが、思った以上に元気がないと個人的に感じた。凄くシーンとしているというか、従業員の人たちは皆さんいい人たちだが、ポツンとしている感じであった。

数年前に地域おこし協力隊だった方の企画で、ナイトハーベストを開催した際に、私はすごく感動した。みんなで朝日を見ながらぶどうを切って、朝日が上がるのをみんなで見ていたら、こういうところでヨガとか、とにかく色々なことに使えるなと思った。ただ、美里ならではとなると少し違うかなと。会津若松市の観光やっている方々とお話をしたときに、中途半端に都会のようなことをしようとするから「田舎ダサいな」となってしまうと言っていた。ここにしかないものをやればいいのに、なんで都会に合わせたようなことをやるのかと。自分が上京して何年か音楽関係の仕事をしていたので、そういう面で帰ってきて田舎の良さってあるのにと思った。そして観光客って求めていない。「なんでこんな中途半端に都会の真似してるの?」と友人から言われるので、逆にこここの良さを大事に活かした方がいいなと思う。若松もそうだが、みんな中途半端な建物建てる。建物を建ててもそれをセーブできる人がいない。そして、本当に考えてやっている能力のある人が潰されているような気もす

る。それが美里でも起こるのであれば、観光に対して自分たちの実績とか、自分たちがこれをやったなんていうのは、正直私の中ではどうでもいいことで、本当に町の人のことを考えたら、本当に町の良さを残しながらいろいろやるべきなのではないかと思う。本当に一番だめなことは、中途半端というか、都会の真似はして欲しくないというのは、自分が広報としていろいろなところを回って、いろいろな人と話して思う。

(阿部氏)

確かに新鶴ワイナリーは、新鶴温泉と並んで、あのエリア一体でいろいろな連携をやっていく資源としてすごくいいと思う。

(参加者C)

私はお客様を観光地に呼ぶのではなく、イベントに呼んだほうがいいのではないかと思う。本郷も高田も新鶴も、せと市があつて御田植祭があつてワインフェスがあつて、そこから広がつていけばいいのではないかということを考えている。それで一番重要なところは継続することだと思う。ワインフェスを2~3年やりました、また次回こういう風にしますというように、アップデートしながらやっていく、ブラッシュアップしてやっていく。そしてそこに付随して、人が呼べるようなイベントにしていけばいいだけの話かなと思う。観光は、お客様が来たときに「こういうのもあるよ」というような流し方をするのが一番いいのかなと。美里は結構イベントを開催するけれど、継続していない。2年やってもうやめました、3年やってもうやめましたと、補助金とか助成金ありきで考えるからそうなる。そうではなくて、収益を上げるようなイベントをやっていかないといけない。やっぱり助成金、補助金切れたからの理由で終了してしまうと、すごくもったいないなと感じる。イベントは人が来たり来なかつたりなど良い時も悪い時もあると思うが、それでも続けることが重要なのではと感じている。あとは、ぶつ飛んだイベントをやるなど。新鶴だとワインも温泉もあるので、例えば「新鶴ワインマラソン」とか、飲んで泊まって帰ってもらうというようなぶつ飛んだものをやればいいのかなと思う。せっかくマラソンチームがあるので。

「あやめマラソン」とかもあった気がする。

(事務局)

本郷は「白鳳マラソン」があった。

(参加者C)

あやめ祭りで今年7年ぶりに梅飛ばしを商工会青年部で復活して、注目度がすごいあるんだなと感じた。そういうイベントでお金を落としてもらう仕組みを作れたら一番いいのかなと思う。

(阿部氏)

皆さんのご意見、非常に参考となった。次に新鶴地域以外のおすすめを教えていただきたい。

〈設問〉

- ・開催地域以外（高田、本郷）の、一番の推し観光資源（場所・イベント・食べ物・文化）は何ですか。
- ・あなたが考えるその理由、根拠は何でしょう。
- ・そして、その観光資源が「バズる」（=もっと有名になり、誘客すること）ためにはどうすればいいでしょうか。

(阿部氏)

それではCさんから発表をお願いする。

(参加者C)

私は蓋沼森林公園が推しというか、気になっている。もう少し何かできるのではないかなどと思う。

(参加者B)

私は伊佐須美神社が推しである。観光客に「伊佐須美神社ってこの町なんだ、若松だと思った。」とよく言われる。なんだかんだ言って伊佐須美神社に来ている方は、県外の方が多く、そこから何か面白いところありますかっていう方が多い。それで本当に悲しいことに、大内宿に行った後に、たまたまこっち側の道から来たら何かあるが、この町なんですかとよく言われることがある。「この町には伊佐須美神社があるんですよ。」って言うと、「伊佐須美神社はどこですか？」と聞かれるので「あの杜です。」と答える。いろいろな神社があるが、杜の中にある神社はなかなかない。地元の人たちは「あの杜には鷺がいて」と言うが、鷺だって白鷺しかいない。最近、地域おこし協力隊の人にドローンで伊佐須美神社を上から撮ってもらったら、すごく綺麗な白鷺がいた。結局、今あの杜がだめになりそうだというのは鷺のせいじゃないっていうことが、大学教授や研究者の方によって判明した。一説によると、その白鷺は守るために来てくれて、いることに意味があるみたいだ。結局、杜が改善すると白鷺は自然とどこかへ行くっていう説も出ていて、すごくロマンがあってかっこいいなと思った。今、杜を綺麗にしようと活動している方たちがいて、写真を撮り続けてほしいと言われているので、撮っていこうと思っている中で、必ず頭に「伊佐須美の杜」ってつける意味が、杜の中に入つて初めて分かった。あと、神主さんが本当にいろいろなことを考えていて、今一番心配しているのは、これから本殿を再建する時に人がドーンと減ることである。なので神主さんは、それが心配なのでいろいろなことを続けていきたいと言われていて、御涼風鈴も、もう7年目くらいだがずっと継続してやってきて、今年も人がたくさん来ている。金曜、土曜の夜は、よりたくさん的人が来ていて、その中で様々なイベントを開催したりし

ている。せっかくここまで人が集まっているのに、再建に向けてあそこが閉められた時に、心配だと言っていた。なので、私が言える立場ではないが、今まで伊勢神宮などの有名な神社の人が減るというのならば、伊佐須美神社は伊佐須美神社で、逆の発想で「伊佐須美神社、今工事しているのにすごく人が来ているな。」と思わせられることをすればいいのではと安易なことを話した。あと、観光客に言われるのは「この神社は町の人に守られていますよね」「アットホームな感じがすごく好き」と言われる。私もそれは思っていて、伊佐須美神社にしかないものがあるから、ここが観光の拠点としてここからいろいろなことを発信していくべきだなと思う。神主さんもその考え方で、例えば風鈴市で本郷焼を販売してPRしたりなど、神主さんはどんどん使っていただいていると言っている。伊佐須美神社あつての会津美里町だと思っている。伊佐須美神社も向羽黒山城も、鶴ヶ城より歴史はあるので。

(阿部氏)

もともと伊佐須美神社は平安時代から歴史があり、神社を中心に町ができていった経緯がある。盆踊りも、永井野甚句や本郷甚句の方が会津磐梯山よりも古い歴史がある。実は会津美里町って、高田、本郷、新鶴それぞれは会津の中でも結構歴史は古い方である。なので、伊佐須美神社もこの地域のアイデンティティになる場所で、非常にいいなと思った。

(参加者A)

私は向羽黒山城跡である。今年の向羽黒山城まつりは、チャンバラ合戦を YouTube で配信したり、歴史に思い入れのある方は多いと思う。法用寺は鎌倉時代だし、御田植祭もどういう由来があるのかすごく気になる。マラソンも武将の格好をして走れば面白いのではないか。歴史を交えてイベントができたらいいのではないかと思う。あとは有名人に来てもらえるように。こんなに歴史が深いので、この美里は誇れると思う。

(阿部氏)

歴史という意味では、会津観光は基本的に鶴ヶ城と大内宿、どちらも歴史あるものを見に来ている観光客が多い。あとは自然とかお酒とかそういうものを求めている観光客が多い。そんなお客様たちが隣町まで来ているのに、なかなかこっちに来ない。その人たちにはこちらとすごく親和性がある。それこそ向羽黒山城は、鶴ヶ城の出城として東北随一の規模を誇っていたなんていうこともあるし、伊佐須美神社は会津の地名発祥の地であるし、そういう意味では、会津観光を若松、下郷、美里で引っ張り合うようなやり方ができたら最高だなと思う。さらに言うと、伊佐須美神社から本郷、向羽黒山城の方に引っ張る流れができたら面白いなと思う。

4. その他

高田地域、本郷地域で行う観光ワークショップの案内を行った。

5. 閉会